



打上っ子だより

唐津市立打上小学校
令和7年7月4日(金)
第4号
文責 校長:山本 英俊

学校 HP こちら ↓



教育目標 地域や仲間を思い 夢に向かって輝く子どもの育成

「立腰」で身体と心を自ら整える～

打上小学校では、何年も前から「立腰」を教育活動に取り入れ、朝の時間や授業、集会等の初めと終わりに「りつよう！」の声掛けで姿勢を整えることが習慣となっています。

この「立腰」というのは、「腰骨を立てる教育=立腰教育」として、教育哲学者の森信三先生が創唱されたものです。教育の根本は、性根（しょうね）を入れることにあり、そのためには身体の要である腰（腰骨）を立てることから始まる、というものです。性根とは、「その人の根本の心構え・心の持ち方・確かな心」です。森先生は、人間の心と身体は深くかかわっているという「心身相即」の理のもと、「心を立てようとしたら、まず身を起こす」という真理を説かれました。そして、「腰骨を立てることで、『主体性の確立』の基盤を固める必要がある」として、立腰教育の大切さを全国に広められました。

先日の全校集会では、「立腰」について、その目的や正しい立腰の仕方を話しました。私たちが毎日している「立腰」というのは、姿勢をよくするためではなくて、「腰骨を立てて身体を真っすぐに整えることで、心や意識も真っすぐに整えて、自分を前に向かわせるため」にしているんですよ、と。そして、正しい立腰とは、「①お尻を後ろに引く②腰骨の中心（おへそ辺り）を前に出す③下腹に力を入れて肩の力を抜く、椅子に座るときは両足を床につける」と伝え、みんなで確認しました。

これからも毎日の「立腰」を通して、身体と心を整え、主体性と実践力を身につけていきたいと思います。

第1回学校評議員会

6月20日(金)に第1回学校評議員会を行いました。今年度の学校評議員は、坂口栄一さん(打上)、佐々木利恵さん(加倉)坂口和広さん(打上)の3名です。育友会より会長の松尾さん、学校より校長、教頭、指導教諭が参加をしました。



まず、各教室をまわり、授業の様子を少しずつ見ていただきました。その後校長室で、学校運営の方針や学校生活の様子について、そして学校評価や年間計画等について説明をし、意見交換を行いました。

これからも、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するために、教育活動や地域との連携等についてご意見いただきながら、よりよい学校運営につなげていきたいと思っています。

暑さに注意！ ～熱中症に気をつけて～

熱中症警戒アラートが連日出され、例年にない早い時期から厳しい暑さが続いています。プール学習も、気温・水温の高さから中止にすることも多く、時間割の再調整や指導・管理の見直しをしました。昼休みの外遊びもできないほどです。熱中症には十分に注意をし、健康安全に留意した生活を送りながら、子どもたちの意識も高めていきたいと思っています。水筒や帽子を忘れて登校することもありますので、ご家庭での声掛けや確認もよろしくをお願いします。